

巻頭言

忙中閑あり

生涯学習部長 平 沼 智

氷川参道沿いの市立博物館に、真福寺貝塚から出土した「みみずく土偶」のレプリカが展示されています。国の重要文化財に指定されているこの土偶は、ハート型の輪郭をした顔に丸い目と口、花びらのような髪型が特徴的で、なんとも愛嬌のある表情です。数千年前の人々の豊かな造形力に触れていると、普段とは違う時間の流れを感じることができます。

先日の日曜日、うらわ美術館の「江戸の遊び絵づくし—おもしろ浮世絵版画—」展に行ってきました。ユーモアに富んだ“江戸の粋”を存分に味わいながら、心地よい時間を過ごしました。生涯学習施設でこうした時間を過ごしていると、明日への活力が充電されていくような気がします。

社会の変化が想像を超えるスピードで進んでいます。目の前の課題に向き合い対応する日々の中で、時には、ゆったりとした時間を過ごし心身をリフレッシュすることも大切です。これからの時代を担う子どもたちに、夢や希望を語る心豊かな大人であるためにも、「忙中閑あり」を実践したいものです。

間もなく新年度を迎えます。満開の桜のもと子どもたちの新しい学年が始まります。

もう少し暖かくなったら、忙中に閑を作り、見沼田圃の「桜回廊」を歩いてみようと思っています。